



# 校長室だより No.3

## 今年も頑張りました！！～田植え体験～

今年も尾田則男さんにご指導いただき、全校児童 12 名で田植え体験を行いました。昨年の田植え終了後に上手に田植えをした様子に感心して「来年は、一番大きな田んぼで田植えしてもらおうかな」とおっしゃっていた通り、今年が一番大きな田んぼでの田植え体験となりました。それでも、時間内に田植えを終えることができ、尾田さんとともに私も大いに感心してしまいました。

5・6年生は、さすがの安定感です。杵を転がした跡の交差しているところに素早く丁寧に苗を植え、手に持った苗がなくなる

と「苗ちょうだい！」と叫び、畦から投げてもらった苗を見事にキャッチ！慣れた手つきで作業を進めていきました。

4年生も今年で4回目。1・2年生の頃は、長靴が泥にはまることもあり、先生に助けをもらいながら田植えをしていましたが、今年は腰にかごを付け「助けて～」と叫ぶことなく、5・6年生と一緒に作業を進めていました。

1～3年生は、高学年とは反対の泥が浅い場所から田植えを始めました。2・3年生は、これまでの経験を活かし、泥に苦戦しながらも自分の力で上手に田植えを行っていました。どんどん慣れてくると、自分で判断してまだ植えていない場所へ移動し、作業を進めていました。素晴らしい！初めての1年生も苗5本を正確に数え、先生と確認しながら丁寧に田植えをしていました。とても楽しそうに田植えをする姿が何より素敵でした。

今年の田植え体験も12名全員で協力し、最後まで一生懸命に取り組むことができ、実り大きい体験となりました。白峰小学校の子どもたちの「働く」ことへの意欲や真面目さには毎回感心させられます。少人数だからこそ、一人一人の役割が大きく、責任をもってやり遂げてきた経験の積み重ねの成果だと実感しています。

秋には、稲刈り体験、収穫祭を計画しています。今から、子どもたちもワクワクしています。



お尻が汚れても気にしません！

田植えの準備や稲刈りまでのお世話など尾田さんには本当に多くのご支援をいただいております。ありがとうございます！

県内の多くの小学校で田植え体験を行っています。低学年が田植え体験をしている小学校はとても珍しいと思います。お米作りの大変さや勤労の尊さ・喜び、食や豊かな自然への感謝等様々な思いを抱いたことでしょう。ますます感性「キラリ！」



子どもたちの自転車の安全について、地域の方から心配のお声をいただき、自転車通行禁止箇所について子どもたちと確認しました。通行禁止箇所は、①国道157号線(久司石油前から勝山方面)②県道33号線(学校前坂から市ノ瀬方面)③JA白峰支店から竹腰永井事務所前坂道)です。子どもたちが安全に楽しく、交通ルールを守って自転車に乗ることができるよう、見守りや声かけをお願いいたします。

